

店舗・事務所内の共有部分の定期的な消毒手順

1 消毒作業前の準備

- 窓やドアの開放、換気扇作動などにより十分に換気する。（作業中も同様です）
（2方向以上の窓等を開けるなど、風の通り道を確保すると、より効果的です）
- マスク、ゴム手袋を着用する。（眼鏡、ゴーグル等があれば望ましい）
- 動きやすい作業着を着用する。
- 0.05%の次亜塩素酸ナトリウム消毒薬を作る（裏面参照）、ペーパータオルを用意する。



2 消毒する主な箇所、場所

- 従業員や来場者の手指がよく触れる場所や床面を、ペーパータオルによく消毒液を含ませてふき取り、その後、水ふきする。（特に、金属部分はサビのおそれがありますので必ず水ふきしてください）

※ 一度ふき取ったペーパータオルで、別の部分はふかないようにしてください。

・施設全般

ドアノブ、手すり、照明等の各種スイッチ、ごみ箱、エレベーターのボタン、床面など

・下足箱、ロッカー

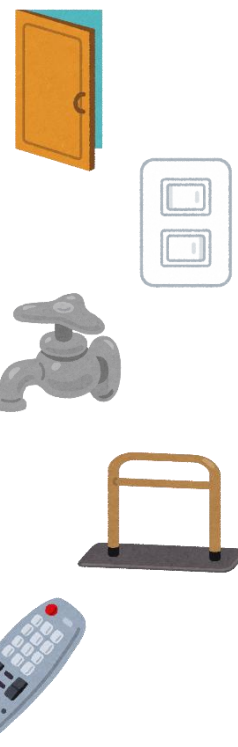
カギ、扉、ビニール製スリッパなど

・休憩室、トイレ

水栓蛇口、シンク、洗面台、椅子、自動販売機のボタン、
トイレの水洗レバー、ペーパーホルダー、便器フタなど

・その他の設備

マッサージ台（操作部分含む）、リモコン、電話機、レジ、タブレット端末など



※ その他、施設の営業種別に応じて、従業員や来場者の手指がよく触れる物や場所を消毒してください。

また、消毒の頻度は、特によく触れる部分の消毒回数を増やすなどの対応に努めてください。

3 作業終了後や、その他の注意事項

- 作業終了後、ペーパータオル、マスク、ゴム手袋は、ビニール袋等に入れ、ひもをしっかりと結んだ上で、廃棄してください。作業着は、家庭用洗剤を用いて洗濯してください。
- 付着した汚染物をまき散らすおそれがありますので消毒薬をスプレーボトルで吹き付けしないで下さい。

手指がよく触れる場所や床面をふき取るときの 塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）の 消毒薬（希釈液）の作り方

① 0.05%(500ppm)の次亜塩素酸ナトリウムの作り方

主な商品名	商品の 原液の濃度	商品の原液の量	加える水の量
ミルトン、ミルクポン、ピュリファン	1%	150mL	3 L
ハイター、ブリーチ	5%	30mL	3 L
ピューラックス、アサヒラック、テキサント	6%	25mL	3 L

5%



1%



6%



ペットボトルの
キャップ 1 杯は約 5 mL です。

次亜塩素酸ナトリウム消毒薬
の商品名の一例です。
(掲載商品以外であっても、次亜塩素酸
ナトリウム消毒薬であれば使用できます。)
掲載商品以外の場合、濃度を
確認し、上記の薄め方を参考
にしてください。

② 使用上の注意

- 消毒作業前と作業中は、十分に換気しましょう。
- 薄めた消毒薬は時間とともに消毒効果がなくなるので作り置きせず、その都度作ってください。
- 誤って飲むことがないように、**容器に消毒液であることをはっきり書いてください。**
- 手荒れするおそれがあるので、**ゴム手袋を着用し、直接触れないように注意してください。**
- 金属部分はサビることがありますので、**消毒後は水ふきしてください。**
- クエン酸やお酢など、**酸性の洗剤等と混ぜないでください**(有毒ガスが発生するおそれがあります)。

※新型コロナウイルス感染症について、最新の
情報を収集し、必要な対策に努めてください



大阪府健康医療部生活衛生室環境衛生課
大阪府保健所

令和2年4月8日作成